

アクマが笑う

欲望の主

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

昔、この世には7つの罪があった

憤怒・暴食・傲慢・色欲・強欲・怠惰・嫉妬

始皇帝はその名を関するアクマを封じ二度と世に出さんとした

しかし魑魅魍とした時代にそれは復活する

その時世界はどう動くのか

「あああああああああ！」

「もつとあそぼーよ」

「頭が高いぞ雑種」

「さあ、女の子の幸せを知らましよう」

「俺の物もお前の物も世界すら俺の物だ異論は認めん」

「さて、めんどくさいので任せます」

「始めましょうか／まってよー」

・・・どう動くのか

目次

ふろろーぐと雑談	1
怠惰／元皇妃は語る	4

名前すら出ておりませんし」

「・・・いちおう、マンガだとではいる」

「それにしても私たちが会話してるって変ですよ？時系列的にまだ始まってもないのですのに」

「そこはあれだよ、これどこかの正義のヒーローみたいなあらすじを後付けと同じやり方だし」

「それに次回からは1000文字以上はいつています、というか1話ってほとんど感想とかないので大丈夫でしょう」

「おお、メタいメタい」

「それじゃあ前置きはここまでにして」

「「「「自分の気のすむままに世界をかき乱そうではないか」「「「「」

怠惰／元皇妃は語る

あらあら、いらつしやい

ふふつそんなに緊張しなくて大丈夫ですよ

ここはどこか？ですか。さあ？夢かもしれませんし現実かもしれない、天国かもしれないし地獄かもしれない

まあそんなことはどうでもいいですよ

とりあえずお座りになって下さい。お茶やお菓子もありますよ

落ち着いたようですね

それでははじめましょうか。あつまたやってしまいましたいつもやっているのです

ああ、そんなに悪いことではありませんですよ。ただあなたは私と話をするだけそれだけです

そうですね、まず最初にあなたは帝国についてどう思われますでしょうか

ですよ、まあいいとは思わないですよわかりますよ

今のこの国は特にひどいですよね、媚を売り、他者を蹴落とし殺し、悦楽に浸る。それ以外にもありますがまあそんなところでしょうか。

貴族は優雅な暮らしを平民には粗野な生活を、男性と女性での立場の違いは差別は一向になくなりません

泣かれてどうしたのですか？なるほどあなたの大事な人も帝国に踏みつぶされたのですね、辛かったですよね泣いても構いませんか

落ち着かれましたか？辛いときは泣くのが一番です

えっ？私の話ですか。いいですけど、長いので簡略版ですが許してくださいね。では

あるところに貴族のお嬢様がいましたその娘はそれはそれは優しい娘でして、その娘には結婚相手がいきました。数年が立ち二人は結婚し子供も生まれこれから国を良くしていこうと頑張ろうとしました。ですが彼は死んでしまいました。ええ、革命軍全員が嫌っているあの大臣によってね。そして彼女も殺されました、彼の後追い自殺と子供

に思い込ませて

その時彼女は願いました。呪願ってってしまいました

こんな国など墜ちてしまえばと、だからこそ惹かれあってしまったのでしょね。アクマにね

それからとん拍子で話が進み、私はそれと契約することになりました。まあやることは人を墮落させるだけなので基本暇ですし。向こうに行くときは面白い人がいなければ滅多に行きませんよ

あらもう時間ですね。最後までご清聴ありがとうございました

えっ、私の名前ですか？そういうえば名乗っておりませんでしたね

昔はミコって呼ばれていましたが今の名前はヨミって言います。

元皇妃です

っていつちやいましたか。まあこれも一夜の夢となるでしょう目覚めたら何も覚えておりませんでしょう。さあ次はどんな人とお話ができるのでしょうか

もしかすると次のお話のお相手は画面の前にいるあなたかもしれ
ませんよ